

川に魚を取り戻せ

2018

「川の再生」は上田県知事の重点政策です。しかし、福永県議は「川を再生させても、魚がいなきゃどうしようもない」という視点から29年2月定例会の予算即別委員会で知事に論戦を挑みました。

福永県議は、上田知事就任の年、平成15年に817トンだった県内の漁獲量が平成26年118トンへと激減したことを取り上げ、しかも、埼玉県漁業協同組合が川に魚を約2000万円かけて放流しているにもかかわらず県が30万円しか補助金を出しておらず、同じく放流をしている日本釣振興会埼玉県支部へは0円であることを厳しく追及しました。

この結果、30年度予算には川に魚を増やしカワウなどから魚を守る新規事業として約1200万円が計上されました。

このほか福永県議は、生活排水を垂れ流す単独浄化槽を合併処理浄化槽に転換しなければ川の再生はないため繰り返し合併処理浄化槽の普及を訴え予算増額を推進しています。

(文責：福永信之)